

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 30 年 9 月 1 日（土）午後 2 時～3 時 30 分
場 所 北野集会所（北野町内会）
参加者数 50 人



主な意見等

参加者 集会所前の一方通行の道は私達の生活道路なのですが、元福小学校前の工事で通行止めをしている関係で、ここ最近自動車の通り抜けが多くなってきています。工事はいつ頃終わるのでしょうか。

市 長 本来であれば出水期（梅雨から台風等が多い時期）は、工事を行わないのですが、状況が状況なだけに工事を続けています。工事の完了は秋か冬頃になる見込です。工事の進捗状況等によっては通行止めをせずにすむ方法が取ればよいと思っています。工事もできるだけ早めに終了させたいと思っています。

参加者 今の質問に関連して、一方通行の道は狭く交通量が増えているのに、30キロ制限が守られていません。もっと可視化するなど、皆さんに気を付けてもらえるような方法を考えてもらえないでしょうか。

市 長 啓発の看板を増やす方法や、路面表示などの方法を検討したいと思っています。

参加者 その件で、6月に子どもと自動車の接触事故が2週間続けて発生しました。その際に、市の道路課にも相談したところ、看板を5枚立てて頂きました。しかし、看板があるだけではどうしても効果が薄く、非常に危険なままとなっています。

市長 速度が出ないように道路に凹凸をつけると、振動が響くこと等からなかなか近隣の方の同意を得るのは難しい状況です。運転される方への周知啓発が一番なのですが、周知の方法も検討したいと思っています。

参加者 市としては看板を立てることが精いっぱい対策なのだろうとは思いますが、以前は、パトカーが待機し監視してくれている時期もありましたが、最近はそれもなくなってしまいました。以前は、パトカーを停める駐車場がありましたが、それもなくなってしまったのでそれも影響していると思います。

市長 警察にお願いすれば、若干は対応いただけるかもしれませんが、警察官もかなり出払っています。危ない箇所だということは、警察も認識してくれています。その辺りも含めて対策を考えていきたいと思っています。

参加者 街路灯のLED化の補助はいつごろ行う予定なのでしょうか。

市長 9月の補正予算に計上しています。比較的早く実施できるかと思っています。また、先行して実施している町会についても補助の対象とする予定です。

私道の街路灯については、個人の財産のため、市で取り付けることはできないので、10分の10の補助という形で行う予定です。LED化によって、町会の方々にとっても電気代や球切れに関する費用などを削減することができます。市が補助するといっても、元々は皆さんに納めていただいた貴重な税金ですのでそれを有効活用してまいります。

参加者 街路灯の件に関連して、公園にある町内会管理の照明も補助の対象になるのでしょうか。

市長 市の防犯灯については既にLED化しています。公園にある照明についても町内会管理のものについては、補助の対象とできるか検討したいと思います。

参加者 循環ワゴンをよく利用するのですが、定員オーバーで利用できないことがあります。また料金的にどうなのかなという思いもあります。

市長 合併以来運用してきた市内循環バスは利用者も少なく3,000万円の赤字がでていました。そうした状況を受け、小型のワゴンタイプのもに変更することで赤字の減少を図りました。

行政や議会の意見として、税金を使いながら赤字のまま続けていくのはおかしいのではないかというものもあります。また、路線バスは有料で、循環ワゴンは無料というのも不公平であるため、高齢者の方の減免を無くしました。公共交通のあり方として、そういった不公平をなくすという考え方を基本としています。

また、公平性を重んじる一方で利便性の維持・向上のため、民間のタクシー会社にご協力いただき、お出かけサポートタクシーという制度をつくりました。ありがたいことに多くの利用があり、逆にタクシーがすぐ来ないような状況も出てきています。

ただ、お出かけサポートタクシーは市内に限って走っているため、市外まで行ってほしいという声もいただいています。運行ルート、台数、料金などは、法的な機関である公共交通会議の中で決めています。今後の検討課題としていきたいと思います。

参加者 上福岡給食センターの跡地の活用について教えてください。

市長 給食センターの跡地については、元々は国有地でしたが市が購入しました。フクトピア用の駐車場や公用車の駐車場が足りていないため、それらの整備と防災倉庫の整備、また上野台小学校の教室が足りなくなっているため、校舎の増築棟を建設する予定です。

参加者 学区の調整についてですが、北野は1丁目が上野台小学校、2丁目が元福小学校となっています。上野台小学校は児童数が増えて増築。元福小学校は空き教室がありますが、大規模改造を行っていま

す。その辺りの調整の考え方を教えてください。

市長 学区の見直しは教育委員会の中で一番難しい仕事だと思っています。できれば、同じ自治組織の子どもが同じ学校にいけるのが理想だと思います。

上野台小学校については、上野台団地の開発により児童数が増えています。どうしても上野台小学校を中心に子ども達が増えているので、他の学校に振り分けることも難しくなっています。

参加者 生徒数が減ってくると、教師の役割も保護者の役割も大変になってきます。上野台小学校と元福小学校では規模が違いすぎて、学校のあり方としてそれでいいのかなという気がします。

市長 私も同じ考えです。元福小学校のように1学年1クラスというのは学校の適正な規模とは言えないと思います。いずれ適正な規模にシなくてはいけないとは思っていますが、学区の見直しは良くなると思って行っても、反対の声は少なからずあがります。非常にデリケートな問題ですので、近いうちにやりますと明言することはできません。

つい最近も亀久保小学校と駒西小学校の学区の見直しを行いました。様々な意見が出て議論を行い、今の子ども達が在学する6年間は弾力的な運用をとる予定となりました。時間をかけながらも、いずれは適正な規模にしていきたいと思っています。

参加者 大阪北部地震でブロック塀が倒壊し女子児童が亡くなりました。ふじみ野市所有のブロック塀対策で補正予算を組まれているかと思いますが、民間所有のブロック塀対策はどうされるのでしょうか。また、建築基準法に適用していないものを作って、何故またそこに予算を使われるのでしょうか。

市長 今回の補正予算で対策するのは、法改正前の昭和56年以前に設置されたものや法改正後であっても一部基準が満たされていない部分についてです。民間のものについても、建物の完了検査の後にブロック塀が作られるケースもあり、チェックが甘かった部分があるということも否めません。

ふじみ野市では、今回公共施設と学校施設、民間保育園について

調査しました。ある学校では、元々民間のブロック塀がある隣に学校が作られました。そうすると、民間のブロック塀を市が直接改修できないため、ブロック塀の所有者に改修予定などを聞き、改修予定がない場合には、万が一ブロック塀が倒れても子ども達が下敷きとならないようにブロック塀の手前にフェンスを立てる対策をとることにしました。

また、民間へのブロック塀の補助についてですが、子ども達は、登下校の際には通学路を歩くかもしれませんが、帰宅後や休日はどこを歩くかわかりません。すべてのブロック塀を直すことは難しく、またブロック塀以外の危険も当然あります。それであれば子どもたちに災害が起きたときの危険性や対応などをしっかりと教育することこそが大切だと思っています。

こうした考えのもと、教育委員会とも話し合い、民間のブロック塀に対する補助を行うのではなく、子どもたちの安全教育に力を入れていくことを方針としました。

参加者 集会所前の一方通行の道が混む理由のひとつとして、県道56号線の踏切がなかなか開かないことが考えられます。高架化やアンダーパス化などの見直しはないのでしょうか。

市長 残念ながら現在そうした予定はありません。

参加者 日本無線跡地にイオンができるとさらに多くの車が抜け道として使うことが考えられないのでしょうか。

市長 イオンの出店のために、交通量調査や警察との交通協議を行っています。その中では、こちらを抜け道に使われることはあまり想定していませんが、万が一抜け道として使用する車が多くなってしまった場合には、時間指定で左折禁止にするなどの対応が取れるかと思っています。イオンができるころには、元福岡の川越江川都市下水路の工事も終わっています。また、抜け道として使われる理由として様々な要因が考えられますので、その見直しも検討しないといけないのではないかと思っています。道も狭く危険なことは、私も重々承知しておりますので、きちんと対応していきたいと思っています。